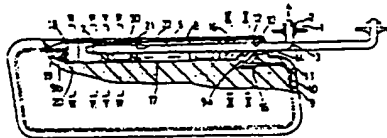


(54) SUN VISOR FOR VEHICLE

(11) 5-286362 (A) (43) 2.11.1993 (19) JP
(21) Appl. No. 4-121259 (22) 14.4.1992
(71) NEOX LAB K.K. (72) NORIMICHI MIWA
(51) Int. Cl.⁵ B60J3/02

PURPOSE: To shield light in an optimum condition and make the pull-out and push-in operations of a sun visor main body stably and lightly by forming the sun visor main body so that it can be pulled out and pushed in axial direction of a lateral shaft body on a pivot shaft.

CONSTITUTION: A hollow guide tube 17 extending in longitudinal direction of a sun visor main body 8 is provided on a bearing body 12 provided in the upper corner of the sun visor main body 8, and also a lateral shaft body 5 on a pivot shaft 3 is extended to a position where it is inserted into the tube of the guide tube 17. A sliding body 21 is close-inserted slidably and with rotation stopper provided into the tube of the guide tube 17, and the top of the lateral shaft body 5 is connected rotatably into the sliding body 21. A locking member 30 which is engaged detachably with an engaging surface 6 formed on the outer periphery of the lateral shaft body 5 to lock the sun visor main body 8 in a storing position along the ceiling surface of a cabin is assembled in the sliding body 21.



BEST AVAILABLE COPY

特開平5-286362

(43) 公開日 平成5年(1993)11月2日

(51) Int.Cl.³

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 J 3/02

D 7816-3D

審査請求 未請求 請求項の数1(全5頁)

(21) 出願番号 特願平4-121259

(22) 出願日 平成4年(1992)4月14日

(71) 出願人 000247166

株式会社ネオックスラボ

愛知県豊田市陣中町2丁目19番地6

(72) 発明者 三輪 紀道

愛知県豊田市陣中町2丁目19番地6 株式
会社ネオックスラボ内

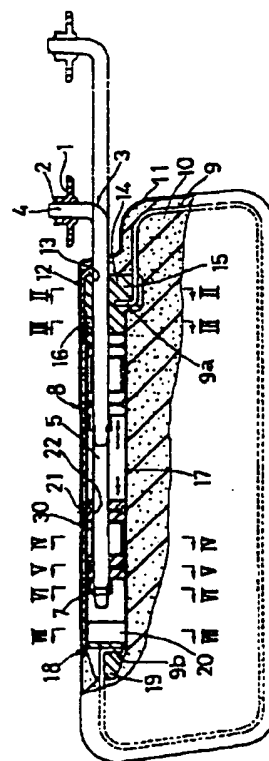
(74) 代理人 弁理士 岡田 英彦 (外2名)

(54) 【発明の名称】 車両用サンバイザ

(57) 【要約】

【目的】 支軸の横軸体の軸方向にサンバイザ本体を引出し及び押込み可能に構成することで、最適な状態で遮光するとともに、横軸体の軸方向に対するサンバイザ本体の引出し及び押込み操作を安定よく軽快に行う。

【構成】 サンバイザ本体8の上隅部に内装された軸受体12には、サンバイザ本体8の長手方向に延びる中空筒状の案内筒17が設けられる一方、支軸3の横軸体5は案内筒17の筒内に挿入される位置まで延出される。案内筒17の筒内には摺動体21が回止めされて摺動可能に嵌挿され、摺動体21には横軸体5の先端部が回転可能に結合される。摺動体21には横軸体5の外周面に形成された係合面6と係脱可能に係合してサンバイザ本体8を車室天井面に沿う格納位置に係止するための係止部材30が組付けられる。



BEST AVAILABLE COPY

5
れることで、サイドガラスから入射する光を最適な状態で遮光することができる。横軸体に対するサンバイザ本体の引出し及び押し込み操作時には、横軸体の先端部に結合された摺動体がサンバイザ本体の案内筒に案内されて相対的に摺動される一方、横軸体と摺動体の係止部材との相互間にすべり摩擦力が生じないため、横軸体の軸方向にサンバイザ本体を安定よくかつ軽快に引出し及び押し込み操作することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例の車両用サンバイザの要部を破断して示す正断面図である。

【図2】図1のII-II線断面図である。

【図3】図1のIII-III線断面図である。

【図4】図1のIV-IV線断面図である。

【図5】図1のV-V線断面図である。

【図6】図1のVI-VI線断面図である。

【図7】図1のVII-VII線断面図である。

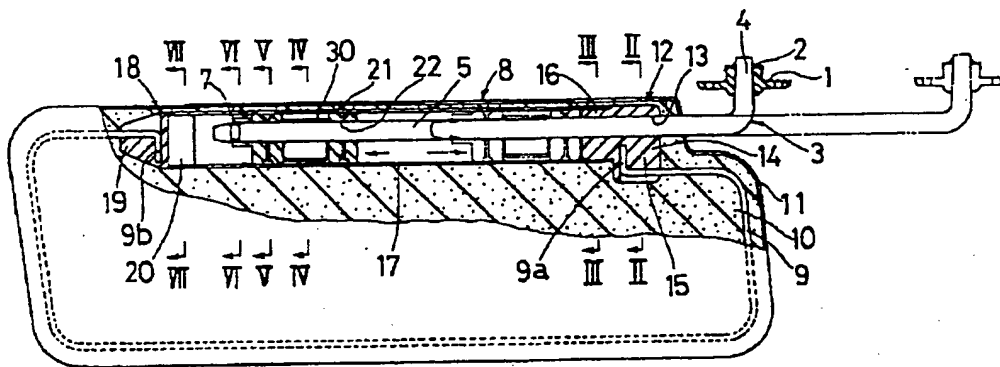
【図8】案内筒、摺動体及び横軸体の組付け関係を示す断面図である。

【図9】摺動体と係止部材とを分離して示す斜視図である。

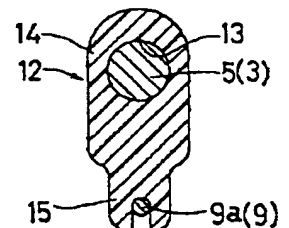
【符号の説明】

- 3 支軸
- 4 縦軸体
- 5 横軸体
- 6 係合面
- 7 係止部
- 8 サンバイザ本体
- 12 軸受体
- 17 案内筒
- 21 摺動体
- 23 挟持筒
- 30 係止部材

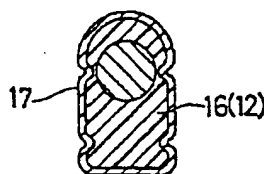
【図1】



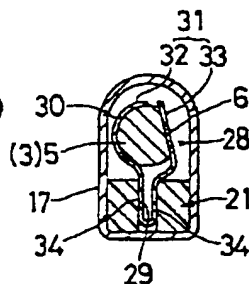
【図2】



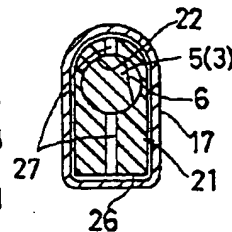
【図3】



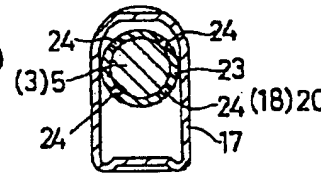
【図4】



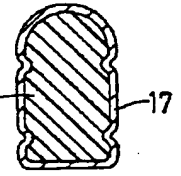
【図5】



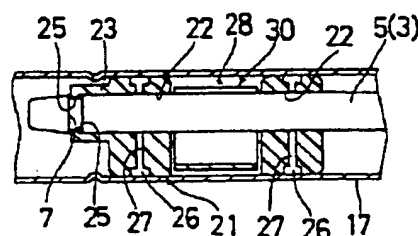
【図6】



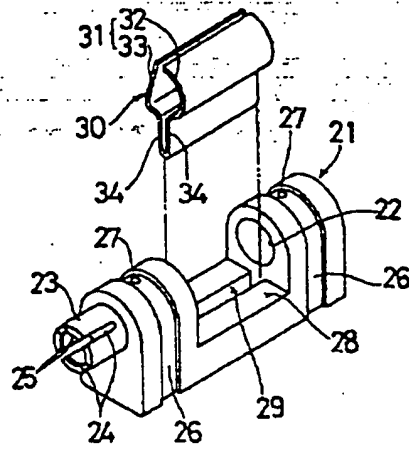
【図7】



【図8】



【図9】



1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34

BEST AVAILABLE COPY